

新潟のスーパーテレインが姿を現した。今回はじめて0-mapが作成された「お幕場」(おまくば)だ。

2013年9月29日(日) 新潟県村上市
新潟大学オリエンテーリング大会

結果

WA-4.4km ↑50m

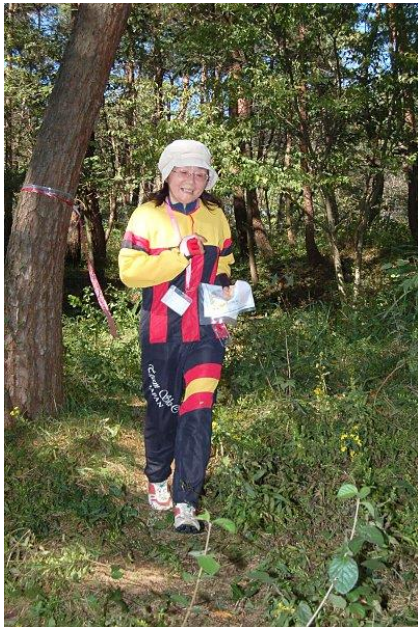
- 1 小野澤清楓 0:43:22 群馬大学
- 2 太田夏美 0:46:52 鳩の会
- 3 丸山由美子 0:53:47 越王会

MA-5.4km ↑65m

- 1 藤沼 崇 0:32:18 越王会
- 2 小暮喜代志 0:34:28 ES 関東 C
- 3 中村 憲 0:36:23 東北大学

MB-3.5km ↑45m

- 1 遠藤一夫 0:43:51 越王会
- 2 渡辺綺羅 0:54:11 米沢第2中
- 3 永元秀和 0:55:03



山形から参加の武石さん。新潟県北部(下越地区)は山形県からとても近い。



お幕場(おまくば)

今は立派に育った松が木陰を作り、素晴らしいオリエンテーリングのテレインとなっている。だが昔は松林の高さが低く、海が見渡せる景勝の地だったそうだ。村上の殿様の奥方や奥女中もこの地に幕を張り巡らして、一日の遊山を楽しんだといわれている。当時を偲んで、毎年5月に盛大な茶会が行われている。

新潟県、夢のニューテレイン

日本海沿いの砂丘地域にはとところどころにオリエンテーリングの適地がある。秋田ワールドゲームズが行われた秋田県の飯島砂防林、インカレショートや全日本リレーが行われた石川県の加賀海岸などが知られている。

今回新潟大学オリエンテーリング大会が開催された「お幕場森林公園」も

日本海に面した砂丘地域のひとつ。テレインとして利用できる森林は細長く、アップダウンは少ない。しかも全般的に通行可能度はよい。こんな天国のようなテレインが今まで残っていたのかと思うほどの適地だ。

するために、学生たちの手によって調査、作図、試走が行われただろう。これができればオリエンテーリングの技術は向上する。昨年度、インカレリレーで見せた新潟大学の優勝もこうした活動の延長上にあるのだろう。

全くのニューテレインで大会を開催

6分/kmヲ体感セヨ

大会自体は参加者50名ほどの小規模なもの。クラス分けも当然少なく、筆者・木村の参加したクラスはMA。男子年齢無差別級で競い合うことになった。スピードのある若いランナーには到底追いつかないが、このトレインなら単純に体力勝負ではない。コース距離は5.4kmだが登坂距離は65mしかない。難易度もそれなりにあるだろう。ペースを維持しながらナビゲーションできれば上位に食い込むことも可能だ。結果、まずは上出来と言える4位に食い込むことができた。密度の高いミドルオリエンテーリングができて満足だ。

競技後も充実

競技のあとは、新潟大学大会恒例の豪華賞品の表彰式。多くのスポンサーを獲得したようだ。続いて参加者全員によるビンゴ。このビンゴの効果は絶大で、参加者のほぼ全員が閉会式まで会場に残っていた。4位でもらいそこねた豪華賞品だったが、大逆転ビンゴで大吟醸をいただいてしまった。

トレインの大きさ、会場キャパシティから見て、300名程度までのミドルイベントであれば実施可能であろう。次回ここで大会が開催される機会があれば、ぜひとも参加していただきたい。



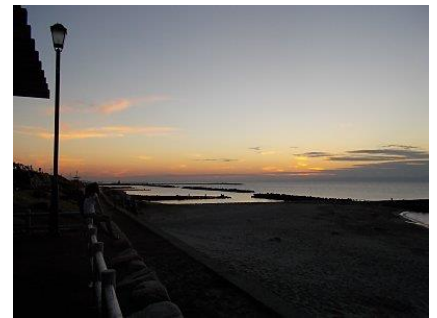
季節柄、蜘蛛の巣が多いのは仕方ない。

観光編

新潟と言えば日本海に沈む夕日の名所。当日は快晴で、幻想的な夕焼けの空だった。

新潟のお酒を獲得した閉会式のあと、会場から近い瀬波温泉に入り、瀬波温泉まんじゅうを買い食い。朝は吊橋に遊びに行ったりと、新潟の秋を楽しんだ。

(木村佳司)



日本海の夕暮れ



鷹の巣温泉の木造吊り橋。郵便車が通ると橋が歪む。目で見て判る。橋を歩くと気持ち悪い揺れ方をする。



フラットな地形、走りやすい森を気持ちよく駆け抜けてゆく。